

<単元・題材名等>

## 開国と近代日本の歩み ー第3節 明治維新ー

ねらい

明治維新の三大改革の中で、不平等条約改正のために最も重要な政策は何かを追究することを通して、仲間の意見を踏まえたり、三大改革と条約改正との関連を明確にしたりしながら考察し、判断基準を明らかにして表現することができる。

### 主なICTの活用方法

- ・明治維新の三大改革の中で不平等条約改正のために最も重要な政策を1つ選び、考えとその理由を明確にする。（ムーブノート）
- ・広場に提出した仲間の考えを共有する。

### ICTを通じて育成する資質・能力

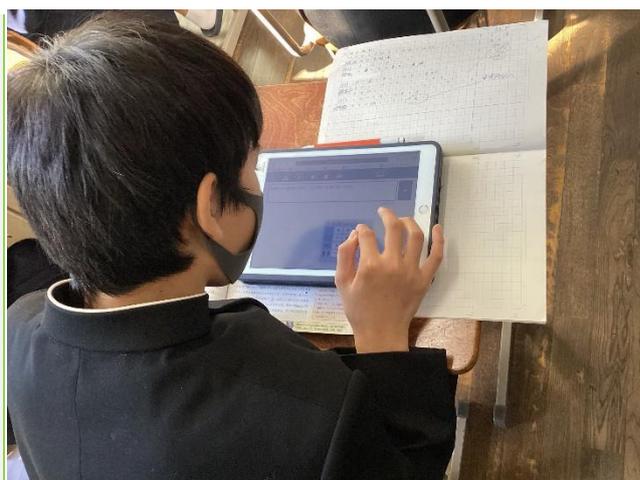
- ・既習事項を基に根拠を明確にして、考えとその理由を明確に表現することができる。
- ・ムーブノート内の広場に提出した仲間の考えを共有することで、比較、整理しながら考えを再構築することができる。

### 実践の概要

前時に、明治政府が実施した三大改革の内容と目的、効果等について学級全体で追究し、理解を深めている。本時は、それを基に、三大改革の中で、不平等条約改正のために最も重要な政策を一人一人の生徒が選択し、その理由について根拠を明確にして表現する。導入で、教師はワークシートを生徒に配付し、それを受け取った生徒は、自分の考えを明確にし、広場へ提出する。ワークシートを提出した生徒から、仲間の考えを自由に見て、自分の考えと比較・関連付けながら自らの考えを吟味していく。必要に応じて考えを整理して再提出できるように働きかけを行う。展開中盤で、どの考えの仲間と交流したいか、目的を明確にしたペア交流を行う。仲間との交流を通して、仲間の意見を踏まえ、三大改革と条約改正との関連を明確にして考察し、判断基準を明らかにして表現できるようにする。

### 生徒の学びの様子

- 明治維新の三大改革の中で、不平等条約改正のために最も重要な政策を一人一人が選択する際、複数の既習事項を根拠としながら、自分の考えを明確にして表現することができた。
- 考えを明らかにした生徒から、広場に提出したワークシートを自由に共有していた。その際、自分と仲間の考えを比較・関連付けながら、自分の考えを吟味する姿が見られた。
- 仲間の考えで共感したり納得したりできる部分については、それを踏まえて発言をすることができていた。また、どうしても納得できない内容があったときは、質問したり代案を提示したりし、自分たちで学びを深めることができた。



### 指導のポイント

- 全員の考えを瞬時に共有できることは、多面的・多角的に追究する力を高める面において効果的である。
- 仲間の考えを踏まえて全体で交流をしたり、それを基に自分の考えを再構築したりすることは、公正な判断をする力を高める面において効果的である。